

# 井戸端だより

第47号

発行日： 2004.9.21

発行： ぐらしの学習会

今年は、大型台風に見舞われた夏でした。

ぐらしの学習会の活動も、7月31日に予定していた川之江（現四国中央市）方面見学が、台風16号で流され、9月予定の今治出張例会も、大型台風の合間とこちらのスケジュールが合わず、流れてしまいました。そのため、今回の会報は、活動記録のほとんどないものになってしまいました。その代わりに、会員の寄稿文で埋められた紙面になっています。読んでいただければ幸いです。

## 目次

- ・ 重信川の自然をはぐくむ会 報告  
—土器川・満濃公園現地見学会— . . . . . P. 2
- ・ 大気中の二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) の測定結果報告 . . . P. 3~
- ・ えひめ新聞社アンケートから見えて来た  
『えひめの現代食事情』 . . . . . P. 5~
- ・ EM生活 始めませんか . . . . . P. 8~
- ・ 雑感 . . . . . P. 11~
- ・ 思い出ばなし . . . . . P. 13~
- ・ 華氏911を見て . . . . . P. 14~
- ・ 行ってみたアメリカ . . . . . P. 15~

# 重信川の自然をはぐくむ会 報告

## 土器川・満濃公園現地見学会

9月4日(土)、くらしの学習会より2名参加

### [土器川生物公園]

土器川には堤防が壊されるのを防ぐため、「霞堤」という施設が所々にあり、この霞堤の内部には広い空間が残されています。この空間のひとつを利用して土器川生物公園が作られています。そのほか、野球場やサッカー場なども整備されています。

生物公園では、水路を張り巡らし、ホタル園や水生植物の観察ができる池などが整備されつつありました。国土交通省土器川出張所の方の説明を受けながら、園内を見学しました。昆虫の保護にはある程度の植物が必要ですが、子供が自然観察を行うには、あまり生い茂った草原や林は好まれないので、両者を同居させることは難しいと感じました。しかし、これらの間に区切りを設けることで、近接した場所に観察区域と保護区域を作ることは可能であるし、その意義は大きいと思います。

### [満濃公園 自然生態園]

かつて営農によって保たれていた里山空間を利用して作られたのが、満濃公園の自然生態園です。自然生態園では、棚田の跡地を湿地帯として残し、湿地性の植物や昆虫の保護および観察区域としているほか、林や池もビオトープとして保全しています。

ボランティアスタッフが同行しながら園内を歩くというスタイルのため、来園者は植物や昆虫についての説明を受けることができ、また同時に自然観察のマナーについても学ぶことができます。非常に良い状態で管理維持されている施設だと感じました。



(K・K)

### 【蝶のボランティア ②】

4月にウマノスズクサを移植した重信川の土手では、夏の間、ジャコウアゲハ、モンキチョウ、キタテハ、アカタテハ、ヒメアカタテハなど、様々な種類の蝶を観察することができました。残念ながら現在は、移植したウマノスズクサは枯れてしまいましたので、一度全ての草を刈りました。

# 大気中の二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) の測定結果報告

コープえひめでは、毎年、環境モニターの協力により「酸性雨」「大気」の測定を全県下で実施しています。2004年度の測定データを入手しましたので「大気NO<sub>2</sub>」測定結果をお知らせします。

## 二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)

- 測定日 2004年6月5日(土)午後6時～6日(日)午後6時
- 測定地域 愛媛県内52市町村(昨年比+1)
- 測定規模 有効データ169地点
- 測定方法 小型カプセルによる簡易測定法(天谷簡易測定法)  
二酸化窒素を吸収させるろ紙を入れたカプセルを24時間空气中に吊るしておき、それにザルツマン試薬を注いで発色させ、発色の度合いをユニメーター(比色計:筑波総合化学研究所製)で測定しました。
- 測定日の気候 各地の①平均②最高③最低の気温は下記の通りです。  
新居浜市 5日(①22.7℃②27.9℃③16.2℃) 今治市 5日(①21.0℃②27.3℃③14.1℃)  
6日(①21.8℃②24.4℃③19.5℃) 6日(①21.8℃②24.4℃③19.5℃)  
松山市 5日(①23.0℃②29.3℃③16.0℃) 宇和島市 5日(①22.7℃②27.6℃③16.5℃)  
6日(①23.6℃②28.2℃③20.7℃) 6日(①23.6℃②28.2℃③20.7℃)  
5日は県下で降水はなし。6日は新居浜と今治で2mm、松山と宇和島で9mmです。
- 平均値 0.023ppm 去年は0.033ppm

### 【行政区別データ集計】

行政区	データ数	ppm 平均値
伊予三島市	1	0.024
新居浜市	5	0.024
西条市	4	0.028
小松町	1	0.020
丹原町	2	0.016
東予市	3	0.027
朝倉村	1	0.019
玉川町	1	0.017
波方町	2	0.027
大西町	3	0.032
菊間町	1	0.009
吉海町	1	0.018
伯方町	3	0.021
上浦町	1	0.025
大三島町	1	0.019
今治市	8	0.030
北条市	3	0.038
松山市	47	0.035
重信町	5	0.022
中島町	2	0.020

行政区	データ数	ppm 平均値
久万町	3	0.008
面河村	1	0.009
美川村	2	0.006
柳谷村	1	0.008
松前町	3	0.025
砥部町	4	0.028
伊予市	6	0.017
長浜町	3	0.014
内子町	1	0.011
五十崎町	2	0.011
肱川町	2	0.006
河辺村	1	0.004
大洲市	3	0.013
保内町	1	0.019
伊方町	1	0.009
瀬戸町	1	0.029
三崎町	2	0.020
八幡浜市	7	0.013
明浜町	4	0.008
宇和町	3	0.012

行政区	データ数	ppm 平均値
野村町	2	0.014
城川町	2	0.004
吉田町	2	0.009
三間町	1	0.010
広見町	3	0.011
松野町	1	0.011
日吉村	1	0.010
津島町	1	0.020
宇和島市	5	0.015
御荘町	2	0.010
城辺町	1	0.008
一本松町	2	0.004
合計	169	0.023

※行政区は東予・中予・南予の順です。

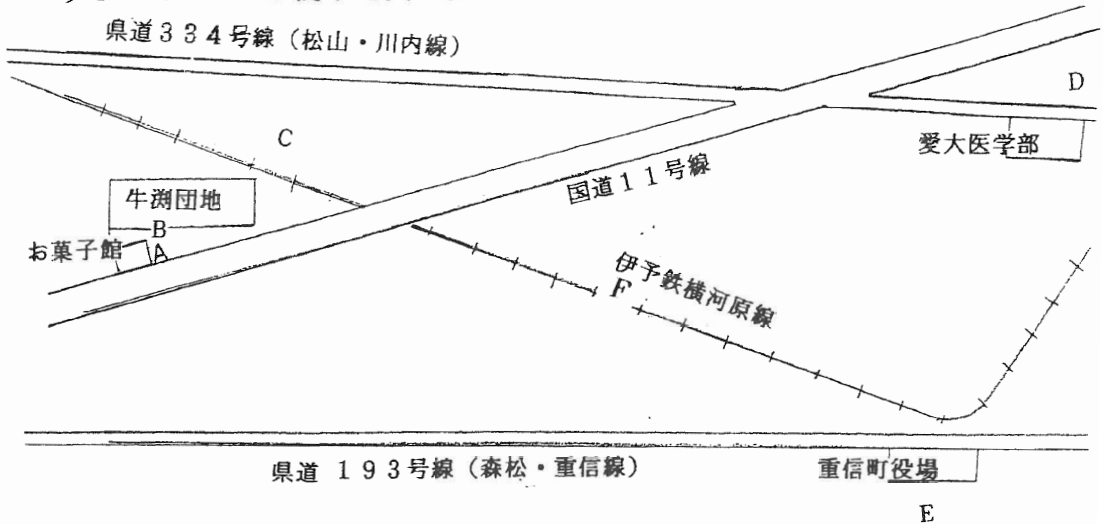
最大値は0.038ppm 北条市

最小値は0.009ppm 河辺村  
城川町  
一本松町

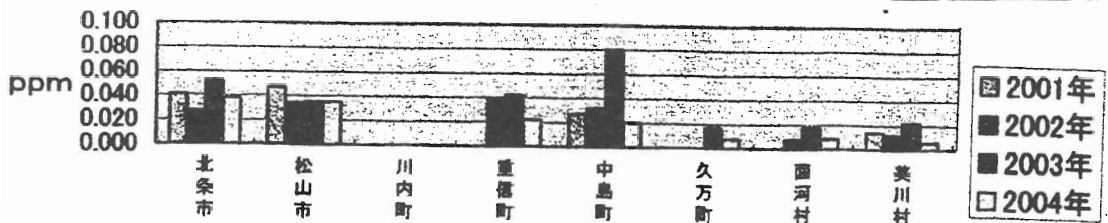
環境基準では「1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること」とされています。

0.020ppm以下	あまり汚れていない
0.021ppm～0.040ppm	少し汚れている
0.041ppm～0.060ppm	汚れている
0.061ppm以上	大変汚れている

「行政区別データ集計」から、重信町では、5か所での平均値0.022ppmで環境基準から、少し汚れている値となっています。重信町の位置関係ではどうなっているのか簡易地図に表示してみました。



A. ハタダ前の陸橋柱	2003年0.054ppm	D. 樋口北吉井幼付近	2003年0.048ppm
	2004年0.0432 "		2004年0.012 "
B. 牛湫団地40棟南側	2002年0.057ppm	E. 重信町役場後ろ	2002年0.033ppm
	2003年0.036 "		2003年0.031 "
	2004年0.0106 "		2004年0.0202 "
C. 牛湫上樋	2002年0.030ppm	F. 田窪駅付近	2004年0.024ppm



A・D地点は交通量の多い道路沿い、B・E・F地点は道路から少し奥にある住宅地です。昨年の平均値は0.042ppmで、数値が下がって良くなったように見えますが、雨や測定日が休日などの影響も考えられる為、安易に喜んでもいられないかもしれません。「酸性雨測定値」(雨水の水素イオク濃度pHが5.6以下になった雨のことを酸性雨と呼ぶ)は、県下最大値ph6.2 最小値ph3.6で、重信町最大値ph5.4 最小値ph4.0で、雨の汚れはあまり改善されていないようです。

来年からは東温市となり、川内エリアのデータがないので、環境モニターが増えて東温市全体で測定できるといいですね。私は来年も参加します。

A. M

## えひめ新聞社アンケートから見えて来た「えひめの現代食事情」

この夏、愛媛新聞社のアンケート「えひめの現代食事情」から見えてきた、五人に一人は朝食を食べず、六割近くが「一食ぐらい食べなくても構わない」と、若い世代では「食」への意欲や関心が薄れていることが分かった。食品購入の際、賞味期限以外の表示を気にする人は二割程度、BSEや産地偽装問題を機に広がった食品履歴への注目度も低い実態が浮かび上がった。私にはとても興味深い内容でした。このアンケートに関連した特集『今を食べるえひめ』が生まれ、興味深い内容だったのでかいつまんだ内容になりますが書いて見ることにしました。

「誇食」家でも外でも、自分のために前向きに、丁寧に食べる。

一家だんらんの対極として、一人っきりの「孤食」家族がバラバラの献立を食べる「個食」など、寂しく否定的なイメージで捕らえられがちですが、二、三十代の女性を中心に「一人ってカッコイイ」という、新たな価値観が生まれている。「家で食べるにも、花を飾り、好きなお皿に盛り付ける。外食なら、たまには自分のために贅沢しようとか、自分自身を見つめ直そうとか」自分への投資を惜しまない。

「中食」家庭で作る内食と外食の間の意味で、惣菜や弁当類を指す。

コンビニの普及によって、「おにぎり」や「お茶」は、いつの間にか買うものになってしまった。この夏の猛暑で、スーパーやデパ地下の惣菜売り場は大繁盛。特に、揚げ物、スタミナは付けたいが家で作るのは暑くて大変。我が家でも昼食に時々利用させてもらっている。

「家食（うちしょく）」家庭で作って食べる物。

外食が特別ではなくなり、中食の惣菜などが充実してきた今「内・中・外」の境界があいまいになってきた。多くの具を使いプロが作った惣菜を皿に移して温め、サイドメニューを添えれば「立派な家食」。アンケートでも、八割りが家庭で冷凍食品や販売惣菜を利用し、六割以上は中食利用にあまり抵抗感がないと答えている。が、土鍋でご飯を炊いたり、自宅に炭火コンロをつくる本格も増え、手間をおしまず、割高でもいい物を食べたい人も増えてきている。食の二極化進行中。

「信 食」テレビで「体にいい」と取り上げた商品は翌日売り切れる現象・

「親がいくら言っても聞かないのに、みのもんたの言う事は、簡単に信じる」ココア一杯、錠剤一粒で「帳消しになると信じこんでいる人が多い」メディアが「食が乱れている」「このままだと病気になる」とあおる。結果、必要以上に健康食品やサプリメントに依存する「錠食の人」が増えている。今や、カルシウムといえは牛乳ではなくサブリ、野菜といえはジュースを連想する人が多い。「基本があつての捕食では」買ってしまうのは手軽な「免罪符」なのだろうか。

「変 食」自分が思う「おいしい」に変えて食べる事（例コーラごはん）

「フワフワ」「とろーり」やわらかものの氾濫。「かめない、遅い、少ない」「空腹はお茶やジュースをちょこちょこ飲んで満たす」必然的に「三度の食事」は崩れ、「常食」や「少量多数回食」へと移行しつつある。こうした「異変」の陰で、給食や家庭の食生活改善によって国民の健康増進を目指す「食育基本法」が今秋の臨時国会での成立が見込まれている。もし、国が良しとする「食」しか許されなくなるとしたらー。変な食、変わる食。そして変えられる食・本当の危機の始まりかもしれない。

「週 食」食材の来た道をさかのぼる事。

BSEや産地偽装問題を機に、食の安全確保のために、急速に普及したトレーサビリティ（生産履歴）システムをたどり、西予市城川町の牛の畜産農家と今治のベビーリーフ生産者を尋ねている。どちらの生産者も「少しでも安心でいいものを作ろうと頑張っている。消費者にももっと関心を持ってもらいたい。多くの人に食べてもらいたい」と願っている。行ってみれば、分かることがたくさんある。けれど、消費者と生産者の距離はまだ遠い。

生産履歴をたどって食肉処理会社「JAえひめアイボックス」では、JA全農えひめの委託を受けて処理・加工されている。牛肉のトレーサビリティシステムを整備したが、実際の利用や問い合わせは多くない。アンケートでも、食品購入時に細かい履歴を気にする人6.5%、7割が「見ない」との結果。コストと手間に見合う成果がある、とは言い難い。トレーサビリティ自体は単なるシステム。それが即「安全」を保証するものではない。どこまでやれば本当に安心なのか。答えはただれにも分からない。

## 「貧食」普通に食べることが難しい事

保育園児並の食事しか取らない近頃の若い女性。「食べたいだけ食べてたら絶対太る。食べなければやせるし、お金もかからない。体に悪いと言われても今は元気だから、着たい服が着られないよりいい」食は生命維持や健康といった「体の内側」の問題を離れ、外見・ファッションという「外側」の話になりつつある。常に周囲においしくて高カロリーで手頃な食べ物があふれ返っている時代。せめて、食と生とのつながりを学び、きちんとした食品を選び取る『技術』を何とか身に付けてほしい。飢えにおびえ、「腹いっぱい食べられさえすれば幸せ」だった時代から、我慢と抑圧の中で「腹いっぱい食べたら罪悪感に苦しむ」時代へ。矛盾だらけの現代の食卓。

「脳食」自分の目より数字。衰えた本能や「眼力」を情報で補うこと。

賞味期限（未開封の状態でも美味しく食べられ期限）を過ぎても食べられないわけではない。しかし、「賞味期限信仰」というべきか、絶対的な基準と思込む人が増えている。「胃袋で食べる」から「脳で食べる」へ。そこには、「信じたいことだけを信じてしまう」危うさものぞく。「新型肺炎（SARS）にはキムチが効く」「〇〇でガンが治る」などの一部の「バイブル本」が虚偽誇大広告に当たるとして、厚生省は七月、慎重な取扱を求める通知をした。こうした「食べ物や栄養の人体への効果を過大に信じたり、信じ込ませる噂」を「フードフォディズム」という。（加藤信一郎「ヘルシーフードの神話」広済堂出版）限りなく細分化された情報の洪水が、次第に食の全体像を見失わせつつある。

「忘食」食べることに興味かが無く、どうでもいい事

飽食の行き着いた先は「忘食」。「おなかはずかないけど、食べた方がいいから食べる」「アイスクリームで済ませることもある」「あれが食べたい、という欲求はあまりない。何でもあるものを適当につまむだけ」やせたいからと無理に我慢を重ねる人も多い一方、食べる意味や楽しさを見いだしかねて、食から遠ざかっている人も少なくないように思われる。だが、口は肥えていてまずいものは「まずい」と言い、平気で残す。目指してきた「豊かさ」を手に入れ、誰もが手軽に何でも選べるようになったのに、かえって迷い、途方にくれている現代。果たして十年後、私たちは何を食べているのだろうか。

A. M

## EM生活 始めませんか

「EMって知ってる？」夫がたずねてきた。「聞いたことはあるよ。何か微生物で、堆肥作りに使ったりしてるんじゃない。」  
「フーン。ワシは初めて聞いた。今日、人から、EMはいろいろな利用できて、環境美化にも役立つという話を聞いたんやけど本当かな。」こんな会話から始まったEMとの付き合いも半年を過ぎた。農業で堆肥作りに使うのだだろうというくらいの認識しかなく、農家ではないので、あまり関係ないと、何となく関心がはかた。しかし、今では、すっかりEMにはまっている。

EMとは、Effective Microorganisms, つまり有用微生物のこと。この「井戸端だまり」を読まれている方の中には、EMについて詳しい方や、すでに生活全般に取り入れておられる方もいらっしゃると思うが、参考になればと思い、使ってみての感想などを書いてみたいと思う。

EMにも、その使用目的によって、菌の配合をかえていろいろ種類がある。私は生活面で利用するので、「EMW」というものを使っている。そして原液を希釈して使用していたが、すぐなくなってしまうので、米のとぎ汁で発酵液を作っている。この方が「経済的だ」。では、どのように使っているかというところ……。

### ● お風呂に



米のとぎ汁発酵液 E 100とくらいい  
適当に、ホチホウヨツと浴槽に入れる。  
あたたまります。また、湯あがかか浴槽  
につまにくく、掃除が楽。  
スポンジなどでこあて シャワーで流せば  
OK



## ⑥ アイロンかけに



希釈液または、米のとぎ汁発酵液を100倍くらいの濃度になるよう水でうすめて霧ふきに入れ、アイロンかけの前に衣類にシッパシッパ。  
シワの伸びがぐっとも良くなる。

## ⑦ 掃除に



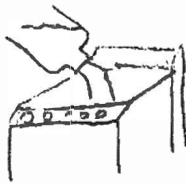
やはり、100倍くらいの液を霧ふきでかけたらからぶきそうい。水だけでぶくより気持ちがいい。静電気を防ぐからか、あとのほこりもつきにくいような気がする。

## ⑧ 布団干しに



布団がびっしょりぬれるまで霧ふきをかけ、お日様に。  
最初は勇気がいるけど、やみつきになる。布団はフカフカ。

## ⑨ 洗たくに



洗たく槽に水を入れ水30Lに米のとぎ汁発酵液を、汚れに応じて150cc~300cc適当に入れて、一晩おいておく。次の日スイッチオン。初めての時は、おそろおそろ少量だけ洗ってみただけ、きれいになっているのでびっくり。特にウチは、粉石けんを使っているの、色物を洗うとどうしても白っぽくおぼえてしまっていたけど、これで解決。色や柄がクリアに洗いあがり大満足。

## ⑩ ペットに



犬に霧ふきでかけてやりなからブラッシング。毛がフワフワ、ツルツルに。まるでシャンプーをしたようになる。臭いもおさえてくれる。

## ●EM湿布

これは、私が勝手に名付けたもの。

犬にきくなら人間にも、とまずは我が身で実験。EMの希釈液100倍くらいのものをタオルにしみこませ、体をふく。

こするのではなく、体にぬるような感じで。

ぬった直後は、EM特有のヨーグルトの様なにおいがするが、すぐ消える。体臭をおさえるのに効果あり。汗かきの息子にも無理やり実践中。

以上、今のところ やつてみていることを簡単に書いてみた。

またまた"いろいろな使い方ができそう"で"楽しめた"。

もともと生き物が好きな私。EMも生き物である点がおもしろい。掃除をしていても、EMにエサをやっている様な気持ちになり、「EMちゃん、食べてね」と心の中で言っていたりする。そして、これは科学的な根拠がある訳ではないけれど、EMを使用していると、何か体による波動でも出ているのか、気持ちが前向きになるといって、何かさわやかな感じが"ある"。

社会的には、今治城の堀の浄化に効果があつたらしく、松山城の堀でも一部で実験的にEMを投入している。病院や老人介護施設で取り入れている所もある。家庭にあるヨーグルトや納豆で手作りする方法もあるとか。私はまた"試してみたい"...

これを機会にEMに興味を持っていただけたら幸いです。一緒に楽しんでみましょう。

EK

猛暑、豪雨、落雷、日本選手大活躍のオリンピックとあわただしく過ぎた八月が遠い昔のことの様に思える程、九月に入ってから浅間山の噴火、東海道沖を震源とする地震、台風、ハリケーン、世界中のテロ事件、日本各地で毎日の様におきる殺人事件、と日々胸が痛むニュースばかりです。

このところ世界中の首脳達は口をそろえてテロを封じ込める為の先制攻撃の必要を説いています。しかしアメリカでパウエル国務長官がイラクでの大量破壊兵器を今後も見つけることはできないだろうと発言しました。“イラクに大量破壊兵器が存在する”この一点を大義に国連の承認も無いままアメリカはイラクを攻撃し、日本も即座に追随した筈でした。イラクで亡くなった多くの人達、そして今なお戦時下の日々を過ごしている人達にどう説明するのでしょうか。イラク攻撃も、ロシアとチェチェンやグルジアとの紛争もすべて限りある石油の利権争いが根底にあるのだと識者達は解説します。私達の生活のほとんどすべての部分が石油由来のものに支えられていると言っても言い過ぎではないでしょう。地球が太古の昔から蓄えてくれていた人間への贈物を私達はあまりにもわがままに使い過ぎています。そして石油が無くなりそうだと判るといとも短絡的に原子力に頼ろうとして各地に原発を造っています。先日美浜でおきた原発事故はとても悲惨なものでしたが、原発の事故としては最も小さく不幸中の幸いのものだと思います。人間が失敗し、機械は故障する可能性はどんなにしても皆無にはならない以上、原発に頼らない工夫こそ必要だと思います。私達一人一人が不便を受け入れる覚悟をし、そのかわり大きな安全を手に入れる為の知恵を出し合う時だと思います。例えば“輸送の為の燃料を使わない地元の食材を消費する”“旬の食材を利用する”、そうすれば、価格も安く栄養も豊富で良いことばかりです。

私事ですが、2年前に相次いで両親を亡くし、今も月に何度か土、日一泊二日で実家のかたづけの為呉に通っています。大型犬も同伴していますので四回の食事の内一回分はコンビニ等のお弁当を利用するのですが、その時の軟質プラスチックゴミの量が膨大なものなのです。今治ではゴミ袋は一切配布されず最初一枚から自己負担で購入するのですが、大中小と3つのサイズがあり、もちろん小さい程安いので自然にゴミ減らしに役立ち、私は気に入っています。我家の場合普段は軟質プラスチックゴミは少々きゅうくつですが週に一回

“小”の袋で何とかまにあいます。それが実家へ行った時は、“小”の倍以上の“中”の袋でも入れるのが大変な位です。一回分のゴミが一週間分とほぼ同量になるのですから驚きです。コンビニは何かの時に本当に便利ではありますが、毎食コンビニ利用という人も多い昨今、これは少し考えてみないといけないというのが実感です。便利さを追求することで失ってしまうものの大きさにも目を向けていかなくては、と思います。

九月には我家でも事件がありました。我家のアイドル大五郎がいなくなってしまったのです。大五郎は名前の通り大型犬ですが、とても気が小さいのです。台風でゆがんだアンテナの修理の人が屋根に上がった時丁度私は家の中へ入ってしまったので、パニックになって塀を越えて逃げ出した様です。まさか塀を越えるとは考えてもいなかった私は大五郎の吠える声がしなくなったのであきらめたのだと思い込んでしまったのです。修理が終わりまだ開けていなかった雨戸を開ける為裏にまわった私はそこにも大五郎がいないことを知り慌てました。散歩コースをまわっても見当たらず、見かけた人もいないので最寄りの交番に届けに行きました。いつも無人の交番にたまたま幸運にもおまわりさんがいてくださり、写真と一緒に届けを出し、市役所と保健所にも届けておく様助言をいただきました。大五郎の母犬のご家族の方達は、宣伝カーの手配等の方法とか親身にサポートしてくださり、宅急便のドライバーの方も連絡を下さったり、本当に人の暖かさと親切が身にしみました。皆さんの支えが無かったら私達は一晩どんなに心細かったことでしょう。幸い次の日のお昼前、市役所の方から、今治城の犬走りと呼ばれる所に、それらしい犬がいると連絡をいただき迎えに行きました。その時も、座席に敷くシートを準備していたとはいえ、犬を乗せることを快く承諾してくださったタクシーの運転手さんにも心から感謝!!です。こうしてほんとうに沢山の人の暖かさのおかげで、24時間ぶりに大五郎は我家にもどって来ましたが、足の裏は4本とも無惨に皮がはがれて赤くただれ立ち上がれない状態になっていました。帰宅して一週間余、ようやく20分位庭に出ることが出来る程度に回復しました。子育て同様、一時の油断が大変なことになることを改めて痛感させられました。

おばあさん猫のリリは九月の初めに、そろそろ別れが近いかもしれないという状態になり心配しましたが、朝夕の涼風と共に元気をとりもどし、今はほとんど一日中家の中にいる大五郎をからかっています。大五郎が立ち上がれなかった時、普段自分からはあまり近寄らないリリが大五郎の顔の近くであれこれ

からかってくれたおかげで大五郎に立ち上がろうとする意欲が出た様に思えます。

最後に訂正させていただきたいことがあります。前回紹介した“式子有情”の出版元がまちがっていました。正しくは“創風社出版”です。読んでくださった方の評判がとても良く嬉しい限りです。 (K・O)

## 思い出ばなし

先日の夜、長男と二人で過ごす時間がありました。お母さん、この話を覚えているかという問いかけに、すっかり忘れていたことが思い出されました。

今振り返ると、落語の小話にでもなりそうなことでしたので、コーヒーブレイクに！ (題名は私がかってにつけました。笑いをとれると成功！)

(その 1) 大人のうそ (話にでてくるおじいちゃんとおばあちゃんは主人の両親)

僕がまだ幼稚園か小学校の1年生にとき、おじいちゃんが夏休みに映画に連れて行ってくれたことがあったよね。その映画は、確かドラゴンボールじゃったと思うんだけど、もうその時はその映画を僕は見ていたんだけど、お母さんがおじいちゃんには見ていることを言っではいけませんと言ったから、僕は黙っておじいちゃんに付いて行ったんだけど僕としてはどうして見たことをしゃべったらいけませんとお母さんが言うたんか解からなかった。

お盆におじいちゃんの家に行ったときに、どうしてもこの事が気になって、僕としてはおばあちゃんに聞くしかないと思っていて、夕食のときに、どうしてお母さんがそう言ったのかを訪ねたら皆がしーんとしてしまって、、、

その時、おばちゃんが、大人にはついていいうそがあるんよといったこと覚えてる？

(その 2) 目上の人って？

おばあちゃんが、学校で、先生にどんなしゃべり方をしているの？と聞いた

ので 僕はこんなんよといったら、目上の人には、そういう言葉じゃなくて、丁寧な言葉でしゃべらんといかんのよと言ったんだけど。

僕は、先生は目上じゃないよって言ったら、先生は目上よ！とおばあちゃんがいるので、僕はおかあさんに、先生は目上じゃないよね？っ聞いたたら、お母さんも先生は目上よというので、お母さんは懇談会で先生には会ってるのになーって不思議じゃった。お母さんは先生の顔をちゃんと見たんじゃろうかって。先生の目は頭にはないぞー。ちゃんと顔にあるぞー。

何回か話が繰り返された後、おばあちゃんがぷーって吹き出した後、僕が目上という言葉を知らないと気がつき一件落着！

\* 子育て中のエピソードは山のようにあったのですが、この話は全く忘れていました。子供は三歳までに親孝行をしていると、思春期の難しい時期には、母親同士で慰めあった記憶があります。思春期を過ぎ、大人になろうとしている子供たちにも、親とのかかわりを思い出す事もあるんだとわかり、少し、心が和みました。(M・T)

## 華氏 911 を見て

前評判に影響されて見に行きました。映画といっても、映像をくっつけているので、ノンフィクションという感じの映画でした。この映画が賞をとったのは、真実だからなのか、あくまで、映画（作り物）としての評価なのか、よくわからないというのが印象でした。

ブッシュ大統領の行動の記録を集めて切り張りしているような画面に、最初は戸惑いましたが、マイケル・ムーア監督の各映像の捕らえ方が真実なら、世の中を動かせる力を持った人の考え方で世界は変わってしまうと恐ろしくなりました。

映画は、911のテロの後、9月13日にはビンラディン家に関するアメリカ在住の人々を政府や民間の飛行機を使って国外に逃がしたことや、ブッシュ家や政府の側近が関係する企業は戦争産業を促進する企業であるからブッシュ政権は戦争を続けることが最優先されるというメッセージを発していました。

貧しい田舎で、戦争に行けば生活が楽になると勧誘をする将校や自分の子供

にも兵隊に行くことを進める母親が映りましたが、子供が戦死してしまっただけからは、母親が自分の考えは間違っていたと涙ながらに訴える姿の映像は、人間の愚かさの象徴だと思いました。貧しい生活から脱却を試みたい気持ちはよく理解できますし、子供には教育を受けさせたい気持ちも親なら当然です。

本当に戦争が世界のためなら、アメリカの議員の子息が最優先で戦争に行けばいいと思ったのはムーア監督だけではありません。

大統領選挙の前だけに、アメリカの国内事情にあまり詳しくない私には、この映画を何処まで信じればいいのか、未だに半信半疑ですが、先日の朝日新聞には、日本の国防は国連よりではなくアメリカよりに変わると書いてありました。本当でしょうか？国を守っているつもりが知らないうちに他国を侵略していたという事にはなりませんように！日本は戦争を放棄すると誓った国ですから。

(M・T)

## 行ってみたアメリカ

8月18日に日本を発って、アメリカへ行って来た。プリンストン大学で開催された日本語関係の学会参加が主目的だが、この際なかなか機会がなくて行けなかった、アメリカ旅行も計画した。

8月18日午前10時半（現地時間）ごろ、アメリカ JFK 空港に降り立った。出発直前に、テロ警戒レベルが上がっていたので、どんなに入国が大変かと危惧していたが、何のことはない、こんなんでいいの？と拍子抜けするぐらい簡単。成田での出国の方がよほど厳重だった。

すぐ、飛行機で一緒だった学会出席仲間2人と、タクシーでニューヨークのミドルタウンまで行った。タクシーは、空港からマンハッタンのどこで下りても45ドルという料金設定がしてあり、最初に下りた一人のホテルまでで45ドル、その後は、メーターをあらたにして加算するという方法で、私と今回の旅の同行者が下りたペンステーションまでチップを入れて62ドルだった。（チップは、料金の15%程度）

学会前に、2日ほど余裕を持って行ったので、フィラデルフィアまで足を延

ばすことにした。それでペンステーションから学生割引（放送大学生）を使い  
アムトラック（長距離電車）に乗って、フィラデルフィア 30 番駅まで行き、  
タクシーでホテルまでたどり着いた。早速街の探索に。フィラデルフィアはギ  
リシャ語で「兄弟愛」を意味し、1682 年英国王チャールズ 2 世の命で、クエー  
カー教徒ウィリアム・ペン（以下ペン）が開いた植民地に、彼が異教徒・異民  
族の和を祈る気持ちを込めて名付けたと言う。1774 年、第 1 回大陸会議が開か  
れ、1776 年ジョージソン起草の独立宣言が署名され、さらに、1787 年憲法  
制定、1789 年 13 州による最初の連邦会議が開催されるなどいずれもこの地が  
舞台となっている。いわばアメリカの独立に深く関わっており、アメリカ人が  
一度は訪れてみたい場所の一つになっている。

そのペンの銅像が塔の上に立っている市庁舎を皮切りに翌日の観光は始まっ  
た。市庁舎の上が展望台になっていて、5 人ずつを限度にエレベーターでそこ  
まで運んでくれる。フィラデルフィアの街が一望の下におさめられ、見上げる  
と、すぐ頭の上にはペンの銅像がそびえている。ペンは、碁盤の目の街造りにも  
深く関わっているということで、偉人と崇められているようだ。

市中央を走っているマーケット通りを行くと、独立記念館（独立宣言が可決  
署名されたところ）、コングレスホール（フィラデルフィアが首都だった 1790  
～1800 国会議事堂として使われた）、宣言の家（ジェファソンが独立宣言の  
草案を書いたところ）、自由の鐘パビリオン（独立宣言の時高らかに鳴らされ  
た鐘で、今はここに移動して公開されている）、カーペンターズホール（大工・  
左官の集会所として建設されたが、1774 年イギリスの植民地政策に対し、その  
権利をめぐる第 1 回大陸会議が開催されたところ）、ベッティ・ロスの家（最  
初の星条旗をデザインして縫い上げた人の家）が集まっていて、歩いて全て回  
れるほどだ。ほとんど無料で場所によってはガイド付きで見て回れる。食欲に  
見て回った後、デラウエアー川のほとりに出た。ペンが上陸した地として有名  
で、昔の帆船が繫留されている。その後、独立戦争当時の居酒屋を復元したレ  
ストラン、「シティ・タバーン」で、地ビールを飲みながら食事をした。余り  
に量が多くて残してしまっただが、もったいないので、持ち帰っていいか尋ねた  
ところ、もちろんと言ってウェーターが料理を引いていった。何と、アルミ箔  
できれいに白鳥の形に作った中に残った料理が入っていて、なかなか心憎い演  
出だった。

次の日は、フィラデルフィア美術館に真っ先に行き、開館と同時に入り、美



術鑑賞三昧。すごいコレクション。その後、直ぐ近くにあるロダン美術館へ。この日は時間節約のためバスも利用した。1回2ドル、降車を知らせる装置は、何と窓にぐるりと張ってある紐を引っ張るというものでした。面白いと言うか原始的というか。前日行きそびれた場所を重点に回った。政治家としても、発明家としても知られているベンジャミン・フランクリンが住んでいた家を保存し、郵便局と、地下を博物館としたフランクリンコートは面白い所だった。合衆国造幣局は、事前予約が必要とかで、入れなかったのは残念。クライスト教会には、ジョージ・ワシントンやベンジャミン・フランクリンやベッティ・ロスなどの指定席だった所に飾り板が付けられていた。この日は、暗くならないうちに学会開催地プリンストンの、ホテルに着かなければならなかったので、心をフィラデルフィアに残しつつ、次の地へ電車で向かった。プリンストンでの学会が充実したものだということは言うまでもない。かのアルバート・アインシュタインはこの地をこよなく愛し、この地で生涯を閉じたし、古くアメリカ独立戦争では、窮地に追い込まれたジョージ・ワシントン率いるアメリカ軍は、1777年油断するイギリス軍を背後から攻め、初めて勝利、そしてナツソウホール奪回に成功、ここからアメリカ独立への本当の道が開けたと言う。何とこのナツソウホールでは、1783年7月国会が開かれ、プリンストンは11月までの短期間アメリカの首都だったそうだ。ナツソウホールのあるプリンストン大学は、映画「ビューティフルマインド」の舞台になったところで、主人公ノーベル賞を受賞した数学者ジョン・ナッシュ博士でも有名だが、落ち着いた、林の中の大学といった感じの素敵な大学だった。

プリンストンで3泊し、(一部屋を4人でシェア アメリカは一部屋いくらだから多人数でシェアするほどお得)、8月23日いよいよニューヨーク入りした。ニューヨークにとったホテルは、ミッドタウンの大変便利なところ。すぐ近くに、ロックフェラー・センターもブロードウェイもタイムズスクエアもあるという地の利をいかし、早速ニューヨーク見物に繰り出した。ラジオシティーの見学ツアーに参加。毎年有名なクリスマス公演が行われるミュージックホールや、ロケッツ(ラインダンス)の衣装を見、お姉さんとの記念撮影、その後、NBCスタジオ見学にも。ロックフェラー・センターの前のゴールドの彫刻、クリスマスツリーとアイススケートリンクで有名なロウアープラザ、どれもテレビや映画などで見たことのある光景。タイムズスクエアの派手な広告も目に収めた。夜は、ハーレムのジャズツアーに参加した。ハーレムは、今は、前二

ニューヨーク市長の再開発のお陰でかなり安全になっているとか。クリントン前大統領もこの地区に住んでいるらしい。ただ、いわゆるスラム街は、より郊外に追いやられたと言うだけで、なくなっていないと聞いた。ヒルトンホテルを夕方 6 時過ぎに出発して、マイクロバスでハーレムへ。まず、ハーレムの家庭料理を出すレストラン「シルビア」で夕食を。どれもおいしかった。その後、ジャズの店「レノックス・ラウンジ」へ。素晴らしかった。胸にしみるサックスの音色、ホテルに戻ったのは 12 時過ぎだった。

24 日は愛媛大学医学部の研究員だった教え子一家がホテルまで来てくれ、一緒に自由の女神像見物に繰り出す。フェリーに乗って、リバティー島に渡り、間近に自由の女神を見る。フランスからの贈り物であるこの像の原型はパリのルクサンプール公園にある。この 8 月から台座まで上れるようになったのだが、事前予約が必要だったとかで、残念だった。エリス島では、もと移民局入国検査所の移民博物館で悲惨な移民の歴史を見る。お昼は、チャイナタウンのレストランに招待してもらい感激。どこの国にもチャイナタウンがあるが、独特の活気をもたらしている。午後はメトロポリタン美術館へ。さすが世界四大美術館の一つだけのことはある。とても全部は観きれない。

25 日は、同室の友人と回る。前日 1 週間バス・地下鉄乗り放題 21 ドルというメトロカードを買っていたので、それをフルに活用すべく朝から出掛ける。ちなみに、ニューヨークのバスの降車の際は、窓枠の横の黒いゴムテープを押して知らせるようになっている。国連本部ビルを皮切りに、ニューヨーク市立図書館の見学ガイドツアーに参加。蔵書数もさることながら、職員数 3200 名には驚く。エンパイア・ステートビルから見る四方のニューヨークの眺めは最高だった。夜景を見るチャンスはなかったが、さぞかしと思う。夜は、ブロードウェイミュージカルを堪能、「アイダ」を、前から 2 列目のオーケストラ席から見る。歌もセットも衣装も素晴らしかった。エルトン・ジョンの音楽もよかった。俳優の息づかいも聞こえるほどの近さと迫りに圧倒される。はまりそう。また、機会があれば是非観たいものだ。

26 日も二人で。友人は 30 年前 3 年半ほどニューヨークに住んでいたことのある人なので、バスに乗るにも地下鉄に乗るにも付いていけば迷わず目的地に着ける。その友人が、昔に比べ本当に街も地下鉄もきれいになったと驚いていた。私自身、映画で見るような怖い街という印象は一つも受けなかった。公共交通機関はきわめて便利。待ち時間ほとんどなしで、次から次へとくる。便利

だから市民が利用する。車なんて要らない。いい循環がそこにはあると思った。ニューヨーク最古の歴史を持つトリニティ教会を経て、ウォール街へ。証券取引所のあたりは、さすがに警備が厳しい。警察のワゴン車が数台と警察犬、それに私服警官らしき人も。写真を撮るのも憚れる。共和党全国大会を間近に控え、一段と警備を強化しているのかもしれない。ジョージ・ワシントンが大統領就任の宣誓をした地を記念するフェデラル・ホール見学の後、911の現場、世界貿易ビルの跡地グランド・ゼロへ。網越しに見る現場には、まだ何もないが、2008年には世界で一番高いアメリカ独立年と同じ数字の高さ（1776フィート）のビルが建つとのことだ。3年前のテレビニュースの悲惨な状況は、今はもうない。

ニューヨーク近代美術館が今増改築中のため、その間クイーンズに仮移転している MoMA QNS に足を延ばす。途中の地下鉄（といってもこの辺りでは、外に出ている）からの景色が、マンハッタンとは違う。落書きも多い。郊外だからか。少しすさんだ感じもする。不思議だ。MoMA で目当てにしていたゴッホの「星月夜」は、ドイツに貸し出し中で、9月にならないと返ってこないとのこと。ショック。しかし印象派のコレクションは素晴らしかった。建築予定の世界の高層ビル展（全て完成予定の縮小模型）も面白かった。生活用品のデザインの視点も他にない独自性がある。クイーンズからルーズベルト島におり、そこから、メトロカードでロープウェイに乗ってマンハッタンへ。バスでセントラルパーク近くまで行き、セントラルパークをぶらつく。ニューヨークを堪能して、一旦ホテルに帰り、その晩、例の教え子が私と友人を自宅に招待してくれたので、地図を片手に、ブロンクス方面へ再び出掛ける。地下鉄の駅まで彼が迎えに来てくれて、早速自宅に連れて行ってしてくれる。ホテルじゃない、生活臭のある家庭を見るチャンスがあって嬉しかった。中国人である彼は、腕によりをかけて、中国料理のフルコースでもてなしてくれた。丁度奥さんのご両親も来ていらっしゃって、前に愛媛でもお会いしたことがあるので、お互い抱き合って再会を喜んだ。こんな日が来ようとは思っていなかった。生きていることの喜びを改めてかみしめた。教え子との別れはいつも悲しいが、こんな風に再会できることもあるものだと、自分の仕事に感謝したくなった。帰りは、彼がホテルまで車で送ってくれた。途中の夜景は素晴らしかった。こうしてニューヨーク最後の日は、最高の演出の下過ぎていった。

私のアメリカ旅行は 28 日松山着をもって無事終了した。今、イラク戦争、

テロ事件と、世界は決していい状態とは言えない。アメリカの動向は、世界の動向に直結している。アメリカが変わればひょっとしたら世界がいい方になるかもしれない。良きにしろ悪きにしろ、アメリカには、そんな力がある事を実感した旅だった。(T・H)

(おことわり：紙面の枚数を整えるため、長々と書くことを余儀なくされました。担当者はつらい！でも皆さんはどうぞ適当に飛ばしてお読みください。)

2004年9月21日をもって、くらしの学習会の所在地も変わりました。



〒791-0204 東温市志津川 1199-9 くらしの学習会 (林方) です。

## 今後の予定

- ・次回例会は、9月27日午前11時～ (林宅にて)
- ・ペルーの方と結婚した友人がいます。一度ペルーの話をしてくれることになっています。夜になるかもしれませんが、日時が決まり次第ご連絡します。
- ・今治出張例会もいつか実施したいと思っています。

くらしの学習会では、随時会員を募集しています。

活動会員 2000円/年      購読会員 1000円/年

振込先口座番号 (郵便局)      くらしの学習会 01610-5-21026

問い合わせ先 TEL/FAX      089-964-6956

E-mail: [kt-hayashi@nifty.com](mailto:kt-hayashi@nifty.com)

9月21日重信町と川内町が合併 東温市誕生しました。どれからどうなっていくのでしょうか。重信の地名が消えてしまうのに一抹の寂しさを感じます。(T・H)